

一般社団法人日本粘土学会 2021 年度第 3 回理事会議事録

日 時：令和 3 年 7 月 24 日（土）15:05～17:10

会 場：Zoom 会議室

出席者：理事（25 名）小暮敏博、千野裕之、中川昌治、佐藤 努、會澤純雄、井出悠介、伊藤健一、上原元樹、小口千明、亀島欣一、黒田義之、笹井亮、寒河江竹弘、鈴木 正哉、鈴木康孝、高木慎介、田村堅志、手束聡子、中戸晃之、日比野俊行、万福裕造、宮元展議、毛利恵美子、横山 信吾、鈴木憲子

監事（2 名）：月村勝宏、志々目正高

理事以外の常務委員（4 名）：川俣 純、佐久間博、樽田誠一、森本和也

オブザーバー：岡田友彦

事務局：川島朝子

欠席者：理事（2 名）：地下まゆみ、三好陽子

成立確認：理事総数 27 名の過半数 14 名以上が出席したため理事会は成立した。

審議事項

1. 2021 年度事業報告（資料 1）

（1）学術雑誌の編集と発行

粘土科学は佐藤常務委員長、Clay Science は中戸編集委員長から、それぞれ資料を基に報告があった。

（2）研究発表会・見学会等の開催

樽田実行委員長より、第 64 回粘土科学討論会（信州大学）の準備状況について説明・報告があった。

（3）シンポジウム・セミナーの開催

田村企画委員長より、昨年企画をした通りに「粘土科学における SDGs」を実施する旨の報告があった。

（4）参考粘土試料

森本参考粘土委員長より、資料を基に報告があった。

（5）広報

佐久間広報委員長より、資料を基に報告があった。

（6）渉外

川俣渉外委員より、資料を基に報告があり、前回理事会より進捗等はないとのことであった。

（7）表彰

小暮会長より、資料をもとに報告があった。

（8）研究促進

佐藤常務委員長より報告があった。現在活動中は 1 件なので、活発な活動のために、ぜひ研究グループを創立して応募して欲しいとの要望があった。

（9）庶務

小口庶務委員および手束庶務委員より、資料を基に報告があった。学生会員の資格確認

に関して、事務局から連絡が取れずに確認ができない案件があることが報告された。宛先不明で郵便物が返送されてしまう場合に、退会の意思が本人から確認できない場合は、いったん学生会員資格を停止し、会費納入が確認できない場合は、一般会員と同様に手続きを進めたい、また、今後は申込書に指導教員記入欄（研究室配属前の学生については学科長など）を設け、メールで在籍確認をするとの提案がされた。佐藤常務委員長よりリスト中の学生に心当たりのある先生は、連絡を取って欲しいとの依頼があった。

退会者および正会員からシニア会員への資格変更に関し、退会者に名誉会員として推薦する可能性のある会員がいるので後に審議することとした。

(10) 常務委員会及び理事会

佐藤常務委員長より、資料を基に報告があった。

以上、審議の上、2021年度事業報告は承認された。

2. 2021年度会計中間報告（資料2）

伊藤会計委員から、資料を基に報告があり、承認された。

3. 2022年度業務委託契約（資料3）

事務局（国際文献社）から資料を基に業務内容の覚書きおよび契約金額算定基準書の変更について説明があり、承認された。

4. 2022年度事業計画（資料4）

各担当委員より資料を基に説明があり、概ね例年通りの事業計画案されているとの報告があった。第65回粘土科学討論会については、佐藤常務委員長より報告があった。また常務委員会・理事会の開催について佐藤常務委員長より、2022年度第3回(7/23)が例年通りだとICCの開催直前になるので変更の可能性が問われたが、この日程で開催することにした。審議の上、2022年度事業計画が承認された。

5. 2022年度一般会計収支予算（資料5）

伊藤会計委員より資料を基に説明があり、承認された。

6. 一般社団法人日本粘土学会 学会賞等運営内規の改定案について（資料6）

中戸学会賞等選考委員会委員長より、資料を基に説明があった。学会賞の条件として会員、功績賞の条件として会員（功績をなした期間に会員であったものも含む）であることを明記したものであるが、原案通り承認された。

7. 2021年度日本粘土学会学会賞等選考結果（資料7）

中戸学会賞等選考委員会委員長より、資料を基に報告があり、承認された。

8. 2021年度日本粘土学会学術振興賞選考結果（資料8）

佐藤常務委員長より資料を基に説明があり、本年度は海外渡航をしての国際会議が開催されないのでは、募集期間内に応募が無かったことが報告された。また、以前から議論されてい

る通り、学術振興基金は底が尽きつつあるので一般会計余剰金からの積立について、意見を募った。伊藤会計委員より、一般会計が黒字の時、ある割合を学術振興基金として積み立てる議論を始めたいとの意見が出された。これについて反対は無く、他に意見が出されなかったことから、次回の理事会で具体的な提案をすることとした。

9. 2021年度総会の開催日時と形式について（資料9）

佐藤常務委員長より資料を基に説明があり、承認された。

10. 学術著作権協会（JAC）への管理委託について（資料10）

日比野粘土科学編集委員長より資料を基に説明があった。今後粘土科学、Clay Scienceからの複写・転載についてはJACを通じて申請してもらうが、非営利目的に限り無料で当学会に直接申請できるとし、これを両誌に記載することとした。またJ-stage掲載の電子版もJACに委託することにした。「Book of Abstracts. Asian Clay」については著作権がどこに帰属するかを確認することにした。

11. 第64回粘土科学討論会について（資料11）

樽田実行委員長および岡田実行委員より、資料を基に説明があった。座長についての質問があり、現地に来ることができるか確認中で、粘土科学誌の発行に間に合うように調整中であるとの回答があった。

佐藤常務委員長より、現在は樽田実行委員長から説明があった通り5月29日の改訂版に沿って開催する予定であるが、以下の場合、フルリモートへの変更の可能性もあるとの説明があった。

- ・長野県に緊急事態宣言が発出された場合
- ・参加申し込みをした多くの参加者の勤務地が緊急事態宣言下の場合

変更の議論については、会長、副会長、常務委員長、実行委員長で構成する臨時執行部会に一任して欲しいが、それについては次回の理事会で諮ることとした。

ポスター発表について佐藤常務委員長より説明があった。

12. 名誉会員の推薦について（資料12）

佐藤常務委員長より、今年度名誉会員の推薦（黒田一幸会員）について資料を基に説明があり、承認された。

13. その他

特になし。

報告事項

1. 粘土科学消費税総額表示訂正（資料13）

日比野編集委員長より、資料を基に説明があった。

2. 粘土科学著作権ポリシー登録について（資料14）

日比野編集委員長より、資料を基に説明があった。

3. その他

特になし。

以上の決議を明確にするため、この議事録を作成し、会長及び監事がこれに記名押印する。

令和3年7月29日

一般社団法人日本粘土学会 理事会

代表理事（会長） 小暮敏博 ⑩

代表理事（副会長） 中川昌治 ⑩

監 事 月村勝宏 ⑩

監 事 志々目正高 ⑩